

第2章 那須塩原市における自殺の現状と課題

1 現状

2 課題

統計データの留意事項

- 1 「地域における自殺の基礎資料」は、厚生労働省自殺対策推進室において、警察庁から提供を受けたデータ（各年確定値）に基づいて、全国・都道府県・市町村別に再集計したものです。（本計画では「自殺日・居住地」データを使用）
- 2 「自殺死亡率」は、人口10万人当たりの自殺者数を表しています。
- 3 「%」は、それぞれの割合を小数点第2位で四捨五入して算出しています。そのため、すべての割合を合計しても100%にならない場合があります。
- 4 「原因・動機別自殺者数」は、遺書等の資料により明らかに推定できる原因・動機を3つまで計上可能としているため、自殺者数の和とは一致しません。

1 現状

(1) 自殺者数の状況

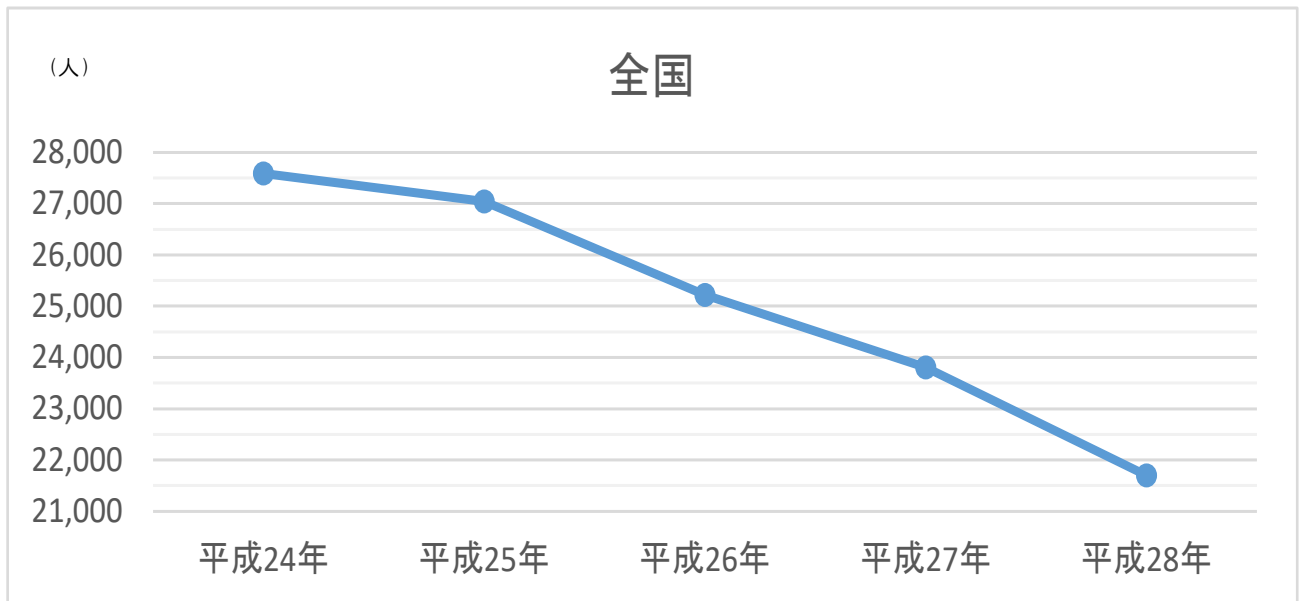
全国及び栃木県の年間自殺者数は減少傾向にあり、本市についても、おおむね減少傾向ですが、特に平成28（2016）年は大幅に減少しています。

○自殺者数の状況（居住地による合計値） (人)

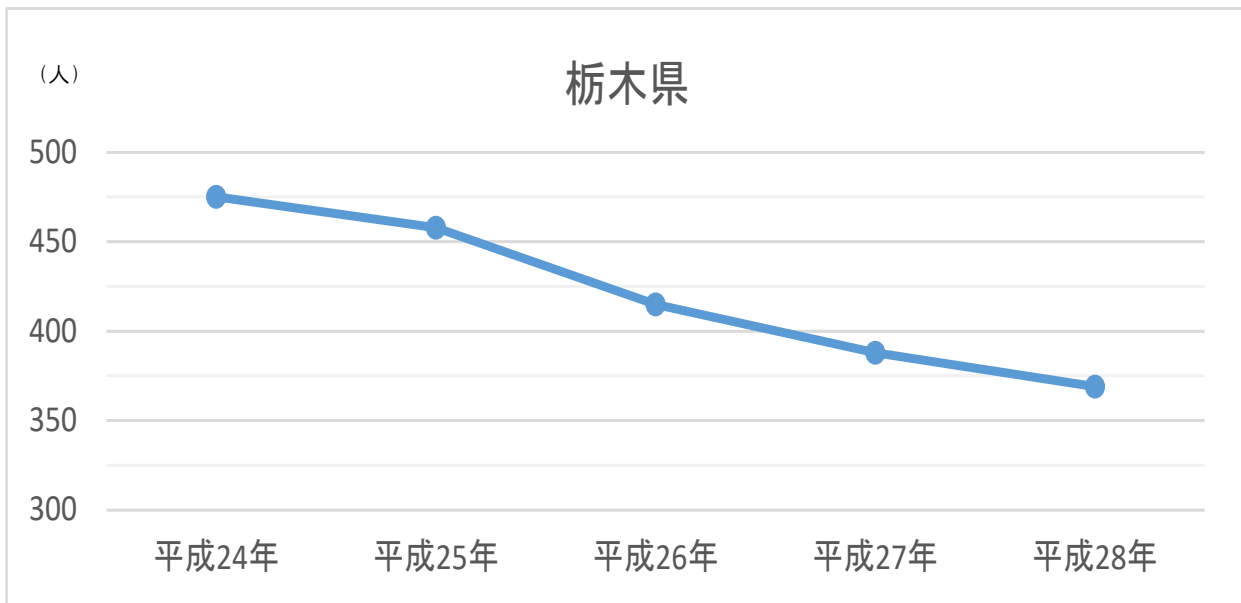
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全 国	27,589	27,041	25,218	23,806	21,703
栃 木 県	475	458	415	388	369
那須塩原市	40	46	29	36	21

出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

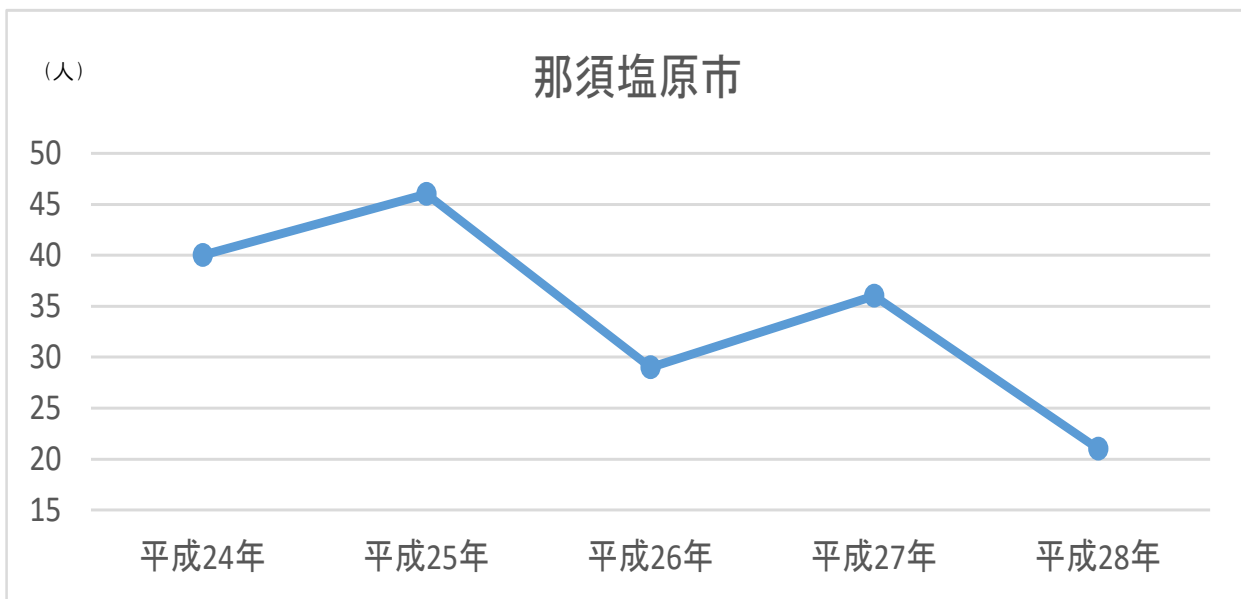
○全国における自殺者数の推移



○ 栃木県における自殺者数の推移



○ 那須塩原市における自殺者数の推移



〔参考〕 自損行為による救急出場の状況

本市内において、自損行為（故意に自分自身に傷害等を加えた事故）により救急出場した件数

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
件数	84	61	71	60

(2) 男女・年齢階層別自殺者数の状況

平成24（2012）年から平成28（2016）年までの本市における自殺者数については、女性よりも男性が多い傾向にあり、年齢階層別で見ると、40歳代から60歳代までの自殺者数が多い状況にあります。

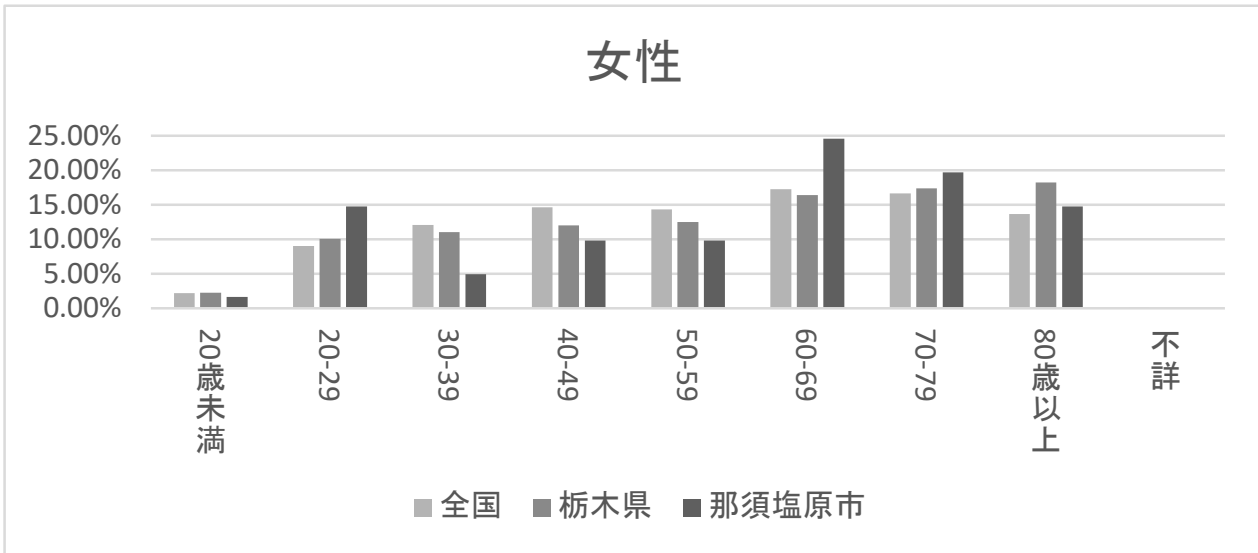
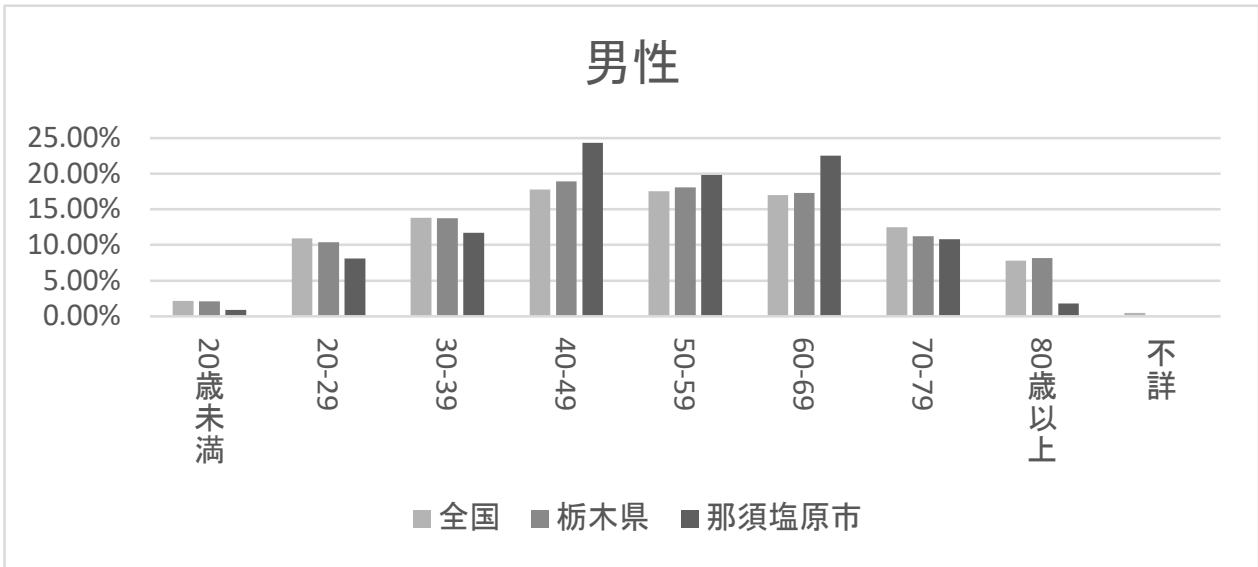
○自殺者数の男女・年齢階層別集計（平成24～28年までの合計値）

（人）

	年齢 区分	20歳 未満	20- 29	30- 39	40- 49	50- 59	60- 69	70- 79	80歳 以上	不詳	合計
全 国	男性	1,878	9,453	11,917	15,327	15,146	14,680	10,764	6,750	405	86,320
	女性	857	3,521	4,715	5,722	5,586	6,742	6,503	5,338	53	39,037
	合計	2,735	12,974	16,632	21,049	20,732	21,422	17,267	12,088	458	125,357
栃木県	男性	31	155	205	282	269	258	167	122	1	1,490
	女性	14	62	68	74	77	101	107	112	0	615
	合計	45	217	273	356	346	359	274	234	1	2,105
那須塩原市	男性	1	9	13	27	22	25	12	2	0	111
	女性	1	9	3	6	6	15	12	9	0	61
	合計	2	18	16	33	28	40	24	11	0	172

出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

○自殺者数の男女・年齢階層別割合（平成24～28年までの平均割合）



(3) 自殺死亡率の状況

本市の自殺死亡率は、平成24（2012）年から平成27（2015）年までの4年間は、全国や栃木県を上回っている状況となっておりますが、平成28（2016）年は大幅に減少しています。

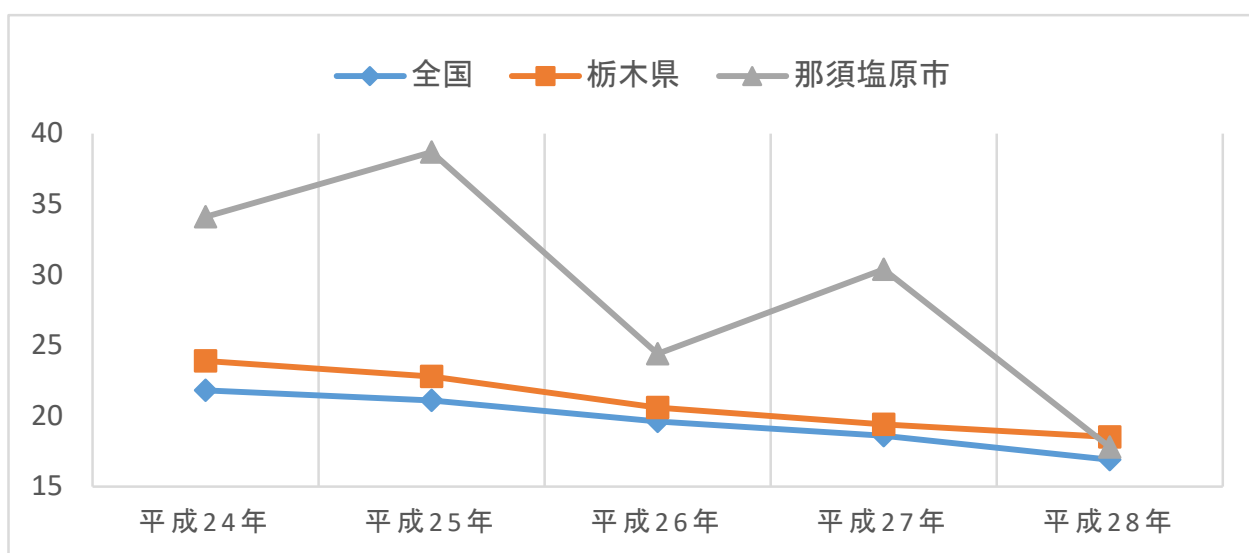
○自殺死亡率の状況

（人）

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
全 国	21.8	21.1	19.6	18.6	16.9
栃 木 県	23.9	22.8	20.6	19.4	18.5
那須塩原市	34.1	38.7	24.4	30.4	17.8

出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

○自殺死亡率の推移



(4) 原因・動機別自殺者数の状況

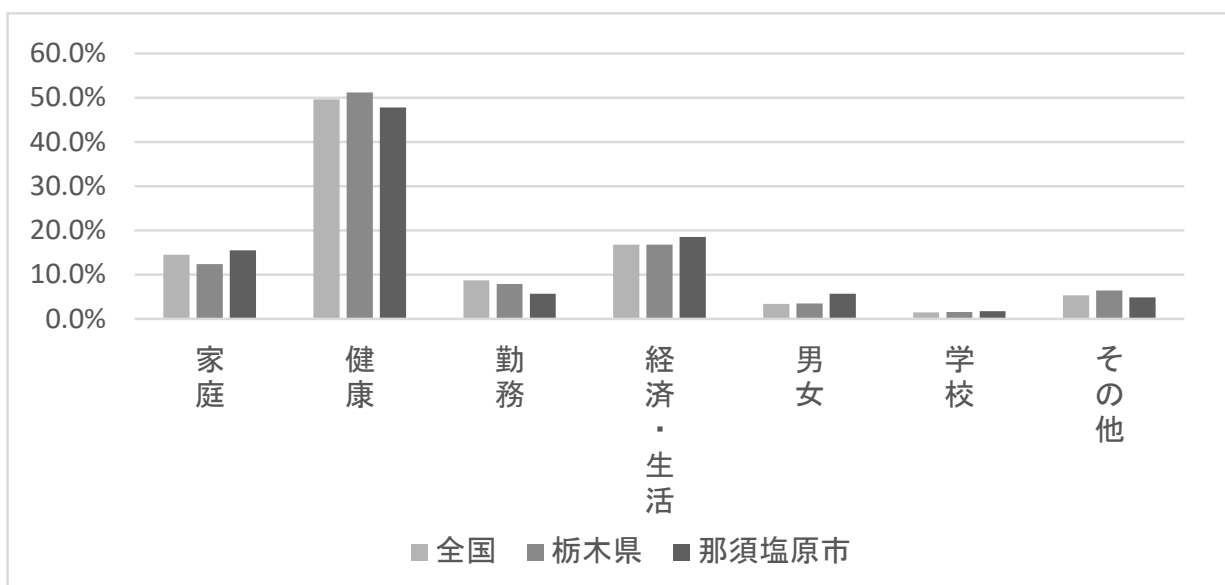
平成24（2012）年から平成28（2016）年までの本市における自殺の原因・動機については、健康問題108人（47.8%）、経済・生活問題42人（18.6%）、家庭問題35人（15.5%）の順で割合が多くなります。全国及び栃木県も同様の傾向にあります。

○原因・動機別自殺者数の状況（平成24～28年までの合計値） (人)

	家庭問題	健康問題	勤務問題	経済・生活問題	男女問題	学校問題	その他
全 国	18,474	63,029	11,087	21,335	4,351	1,860	6,760
栃 木 県	326	1,341	207	441	92	42	170
那須塩原市	35	108	13	42	13	4	11

出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

○原因・動機別自殺者数の割合（平成24～28年までの平均値）



(5) 職業別自殺者数の状況

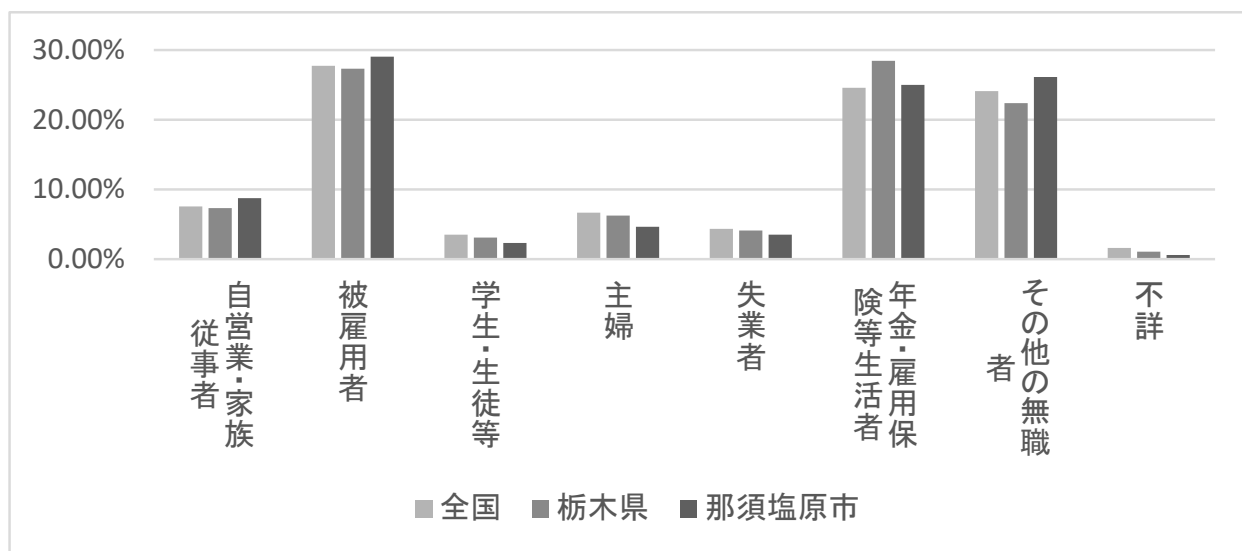
平成24（2012）年から平成28（2016）年までの本市における自殺者数の合計172人のうち無職者の数は102人となっており、全体の59.3%を占め、過半数を超えています。全国及び栃木県も同様の傾向にあります。

○自殺者数における職業別自殺者数の状況（平成24～28年までの合計値）（人）

	有 職		無 職					その他
	自営業・ 家族 従業者	被雇用者	学生・ 生徒等	無 職 者				不詳
				主婦	失業者	年金・ 雇用保険等 生活者	その他の 無職者	
全 国	9,449	34,754	4,366	8,366	5,435	30,797	30,201	1,989
栃 木 県	154	575	65	132	86	599	471	23
那須塩原市	15	50	4	8	6	43	45	1

出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

○職業別自殺者数の割合（平成24～28年までの平均値）



(6) 同居人有無別の状況

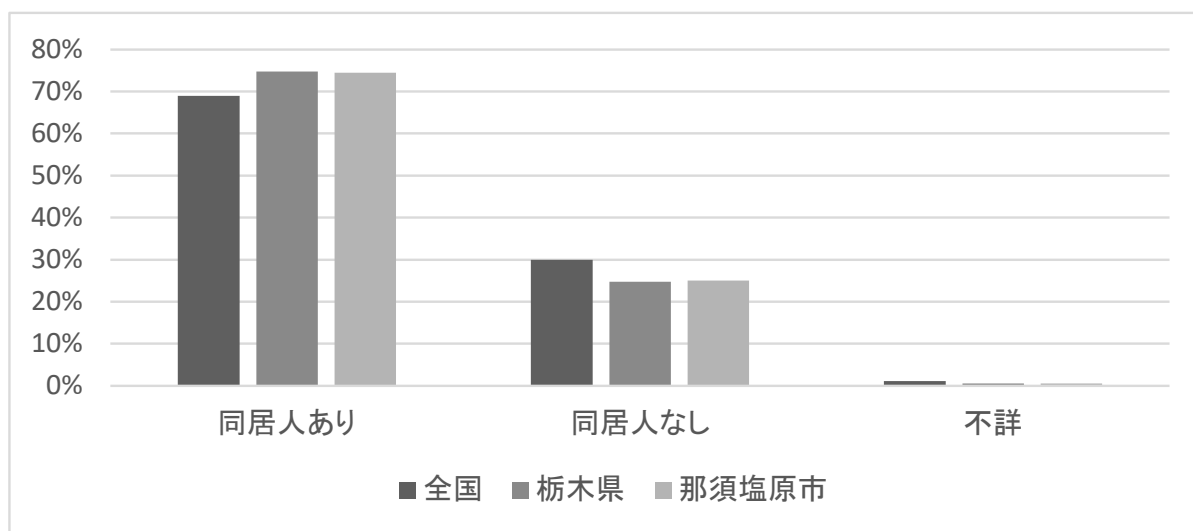
平成24（2012）年から平成28（2016）年までの本市における自殺者数の合計172人のうち同居人がいる人は128人となっており、全体の74.4%を占め、過半数を超えています。全国及び栃木県も同様の傾向にあります。

○自殺者における同居人の有無（平成24～28年までの合計値） （人）

	同居人あり	同居人なし	不詳
全 国	86,489	37,523	1,345
栃 木 県	1,574	520	11
那須塩原市	128	43	1

出典：厚生労働省「地域における自殺の基礎資料」

○同居人有無別の構成割合 （平成24～28年までの平均値）



2 課題

本市における自殺死亡率は、平成24（2012）年から平成27（2015）年までの4年間は、全国や栃木県を上回っている状況となっていますが、平成28（2016）年は大幅に減少しています。男女別自殺者数では、男性が女性のおよそ2倍となっています。年齢階層別では、40歳代から50歳代までの稼働年齢層及び60歳代の自殺者数が多い状況となっています。原因・動機別では、健康問題がおよそ半数を占めており、この他、経済・生活問題、家庭問題が多い状況にあり、これらで全体の約8割を占める結果となっています。また職業別では、無職者が約6割、被雇用者が約3割という状況にあります。

このような本市における自殺の実態を踏まえ、行政、関係機関・団体、市民等と連携・協働しながら、地域における気づきや見守りに取り組む必要があります。

自殺は、ある特定の要因で起こるものではなく、病気の悩み、うつ病等の心の病気等の健康問題、失業、倒産、多重債務等の経済・生活問題、育児や介護・看病疲れ等の家庭問題、過重労働やパワハラ等の勤務問題等、様々な要因が複雑に関係していると考えられます。

このようなことから、心理的に追い詰められた人に対する自殺対策として、行政、関係機関・団体、市民等が連携して、生きることの包括的な支援に向けた対策に取り組む必要があります。